

2024年6月28日

回収したペットボトルキャップが、世界の子どもたちを救うワクチンに 「認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」へ 193 万円（ペットボトルキャップ 7,735 万個分）を寄付

コープデリ生活協同組合連合会（略称：コープデリ連合会、本部：埼玉県さいたま市、代表理事理事長：熊崎 伸、会員生協：関東信越 6 生協）は、2023 年度に組合員の皆さまからペットボトルキャップ約 7,735 万個分※を回収し、そのリサイクル売却益 193 万 3,800 円を、「認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」（以下、JCV）に寄付いたしました。

6 月 27 日（木）、寄付金贈呈式を開催し JCV に目録を贈呈いたしました。



JCV 剣持睦子理事長とコープデリ連合会熊崎伸理事長

コープデリ連合会の会員生協では、店舗や宅配で 2012 年からペットボトルキャップを回収しています。これまでに回収したペットボトルキャップは累計で約 7 億 911 万個※、JCV への寄付総額は 1,727 万 7,900 円となります。

JCVはユニセフと連携し、予防可能な感染症で命を落とす子どもが数多くいる国々へ6大感染症（ポリオ、はしか、結核、ジフテリア、百日咳、破傷風）などのワクチンを贈る活動を1994年から続けています。現在の支援国はミャンマー、ラオス、ブータン、バヌアツの4カ国です。今回の寄付金は、ワクチンや関連機器（保冷库、注射器など）を届ける「子どもワクチン支援活動」に活用されます。

売却したペットボトルキャップは、再資源化業者を通じて再生されます。ペットボトルキャップを再利用した買い物カゴの原料にも一部使用しており、会員生協の一部店舗で導入しています。



回収したペットボトルキャップの一部

※重量からの換算

寄付金贈呈式の登壇者のコメントは以下の通りです。

【認定 NPO 法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会 理事長 剣持 睦子 様】

今回のご寄付、本当にありがとうございます。JCV は 1994 年に創設し、今年で 30 周年を迎えます。この間に、当時ワクチンを受けた子どもが看護師になってワクチン接種に携わるようになるなど、取り組んできたことが形になっていることを実感しています。ペットボトルキャップのように捨てればゴミになってしまうものを集めていただくことで、こうしてワクチン支援に役立てることができます。日本人が昔から持っている「もったいない」という気持ちがこれからも大切にされる世の中であることを願っています。

【コープデリ生活協同組合連合会 代表理事理事長 熊崎 伸】

コープデリグループから貴会へ寄付するのは今回で 12 回目となります。組合員がペットボトルキャップをリサイクルに出すことを通じてワクチン支援ができるということが生協らしい。世の中に少しでも役立ちたいという組合員の思いが形になり、捨てるのがゴミになってしまうものがこうして世界の子どもたちの役に立つというのはとても良い取り組みだと思います。コープデリグループの新しいビジョンにある「ともにの力」で、世界中の人たちに笑顔が訪れる世の中を一緒につくっていききたいと思います。

コープデリ生活協同組合連合会 概要

【住 所】 埼玉県さいたま市南区根岸 1-4-13
【代表理事理事長】 熊崎 伸(くまざき しん)
【会 員 生 協】 コープみらい、いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま、コープながの、コープデリこいかけ
【総 事 業 高】 6,160 億円(会員生協事業高計) ※2023 年度
【組 合 員 数】 539 万人(会員生協組合員計) ※2024 年 5 月 20 日現在
【ホ ー ム ペ ー ジ】 <https://www.coopnet.jp/>